

オーディオブック

全文朗読CD版

世代を超えて日本人の魂を揺さぶりつづけるダイナミズム
一大巨篇

三国志

原作 吉川英治

朗読 橋爪 功

登場する人物の生き方や逸話
数々の名場面や名言の全てを
余すところなく読むように聴く

圧巻 CD 全100枚

「三国志」史上 世界初の壮挙

時を忘れる
至福の

108時間

残部
数組

(2025.9)

学術資料出版

大空社出版

www.ozorasha.co.jp

オーディオブック 三国志

(大空社 2009年6月発行)

*本パンフレットは発刊時(2009年)のものを
再現したものです(大空社出版)。

三国志

今を遡ること一八〇〇年、中国を舞台とするこの歴史物語は、古来、詩歌・小説などの読み物、演劇・歌舞伎・人形劇、また最近のマンガ・ゲーム・映画と、時代と国を超えて様々な形を変え、繰り返し語られている。他国の遠い昔の物語が、こと日本人の心をこれほどに捉えるのはなぜか――。

日本人が「三国志」と聞いてまつ先に思い浮かべるのは、

吉川英治「三国志」

を描いてほかにない。

「吉川・三国志」から大きな影響を受けた歴史家・文筆家・政治家・財界人・宗教者・芸術家などの文化人は枚挙にいとまがなく、なにより愛読し人気を支えてきた一般大衆は計り知れない数にのぼる。戦前に書かれ半世紀以上も読み続けられる秘密は、物語の面白さであることはもちろんだが、他ならぬ「ことば」がいつまでも生氣を失っていないことが根底にある。「吉川・三国志」の真価は、日本語そのものが持つ「いのち」である。

偉大な国民的作家による不朽の名作

その豊饒な物語りの世界に踊る 無慮数千の個性——

名優・朗読の名手が

人の呼吸をそのままに いのちを吹き込んだ

朗々たる 全 108 時間

〈朗読〉

「声」による

映像・文字を介さない

純粹に「ことば」のみの宇宙——

耳から受けた「ことば」の世界は、

他の五感を圧して

想像力の翼を広げてゆく。

そしてここに、激情、憤怒、落胆、猜疑、辛苦、逡巡、克己、信義、忠誠、希望、愛情、友情、純心、安堵……あらゆる人間の感情と思念が渦巻く混沌世界に、いままでにない新しい「いのち」が吹き込まれた。しかも、全文朗読一〇八時間という壮挙。いつしか、親しんだ「吉川・三国志」の世界にどっぷりつかかり、至福の時に身をまかせている自分に、読者＝聴き手は気づく。

史上初

全文朗読

三国志

新たな「三国志」の記憶

三国志には、詩がある。

単に、歴大な治乱興亡を記述した戦記軍談の類でない所に、東洋人の血を大きく搏つ一種の諧調と音楽と色彩とがある。

三国志から詩を除いてしまったら、世界的といわれる大構想の価値もよほど無味乾燥なものになるう。

故に、三国志は、強いて簡略にしたり抄訳したものでは、大事な詩味も逸してしまいうし、もっと重要な人の胸底を搏つものを失くしてしまうおそれがある。

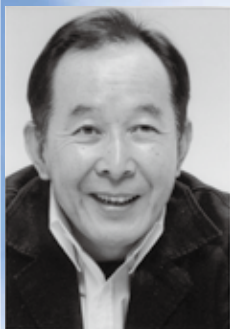
で私は、簡訳や抄略をあえてせずに、長篇執筆に適当な新聞小説にこれを試みた。そして劉玄德とか、曹操とか関羽、張飛のほか、主要人物などには、自分の解釈や創意をも加えて書いた。随所、原本にない辞句、会話なども、わたくしの点描である。

『三国志』「序」より

●原作
吉川英治



●朗読
橋爪功



いつたい何人の人物達が現れては消えていったことか、遙かな昔、遠い国の人間達、愛すべき男や、いと美しい女、嫌な奴や小賢しい者達、それこそ枚挙にいとまがない人物達が右往左往し、時に栄華を誇り、衰え、滅ぶ、その奥に吉川英治という作家の大きな、とてつもなく温かい目が注がれている。そして、まさにその事が僕を奮い立たせ、足掛け三年にも及ぶ大仕事をやり遂げさせてくれた原動力だったと、今あらためて感じている。

「吉川さんの息遣い」(別冊『三国志・ガイドブック』所収)より

プロフィール

●よしかわ・えいじ 1892年(明治25)神奈川県久良岐郡(現横浜市中区)生まれ。本名英次。家運の傾きに伴い小学校中退後、印章店奉公、印刷工など、諸種の職業に就く。かたわら、俳句・小説などの投稿・執筆を重ね、25年創刊の雑誌「キング」に連載された「剣難女難」(初めて英治の筆名を使用)、つづいて26年、「鳴門秘帖」で一躍流行作家となる。35年より「朝日新聞」に「宮本武蔵」、38年から「読売新聞」に「新書太閤記」、さらに39年より43年にかけて地方五紙に「三国志」と、代表作となる大作を続々連載。終戦後一時筆を断つも、根強い支持により再開、「新・平家物語」「私本太平記」ほか執筆に心血を注いだ。60年文化勲章受章。62年(昭和37)、70歳で死去。今なお国民的作家として多くの読者を得ている。

●はしづめ・いさお 1941年(昭和16)大阪府生まれ。東京都立青山高校卒業後、61年、文学座付属研究所に入所、62年、文学座、63年、劇団「雲」を経て、75年、芥川比呂志、岸田今日子らとともに演劇集団「円」の設立に参加。「スカパンの悪だくみ」で注目を浴び、以後、数々の舞台で活躍する。最近作では「レインマン」「死の舞踏」「パイパー」、映画では「お日柄もよくご愁傷さま」や「マルサの女」「あげまん」など、多くに出演。独特の個性と演技力を買われ、ドラマ出演も多数、主演作に「新・赤かぶ検事奮戦記」シリーズ、「京都迷宮案内」などがある。また、朗読の名人として数多くの作品をこなし、その評価は絶大である。

読む者をして百年の地上に明滅する種々雑多な人間の浮沈と文化の興亡とを、一卷に偲ばせて、転深思の感慨に耽らしめる魅力がある。

——吉川英治

全 108 時間

収録概要

群雄

割拠

から

劉備

関羽

張飛

曹操

孫権

呂布

周瑜

趙雲

仲達

孔明

……



CD 1~4



CD 5~8



CD 9~12



CD 13~16



CD 17~20

桃園の巻 黄巾賊／流行る童歌／白芙蓉／張飛卒／桑の家／橋畔風談／董卓草舎／三花一瓶／義盟 ●後漢が衰えを見せる霊帝の代（一八〇年頃）、張角を首領とする黄巾賊が横暴を極め民を苦しめていた。涿郡桑村の席売り劉備玄德は、漢の景帝の末裔として乱世を憂えていたところ、猪突邁進家の張飛、識者の関羽と相知り、諸国に義勇の士を募る檄を飛ばすこととなった。漢室再興と民衆を助ける使命感に燃えた三人は、桃園に祭壇を供え義兄弟の契りを結ぶ。

桃園の巻 続 転戦／檻車／秋風陣／十常侍／打風乱柳／岳南の佳人／故園／乱兆／舞刀飛首／螢の彷徨い／呂布 ●漢の丞相の末裔曹操、江南の孫堅も同じく賊の討伐に起ち、皇室の武臣董卓は彼らの功により張角の首をとる。一方、霊帝のまわりは宦官・佞臣で固められ腐敗している。帝が没すると洛陽は、外戚何進、袁紹らと宦官の謀殺の場となる。そこに董卓が献帝を立て宮廷を私する。異を唱える丁原の子、猛者呂布に董卓は畏怖を覚える。

桃園の巻 続 赤兎馬／春園走獸／白面郎「曹操」
群星の巻 偽忠狼心／競う南風／江東の虎／関羽一杯の酒／虎牢関／洛陽落日賦／生死一川 ●董卓は呂布に名馬赤兎馬を与える。治世の能臣、乱世の奸雄、曹操は董卓を倒そうとするが発覚し東へ逃走、董卓討伐の志士を募る。総大将袁紹、参謀曹操、公孫瓚、劉備、孫子の末裔孫堅が討伐に。劣勢の董卓は遷都を決意、洛陽を焼き払い長安へ。洛陽で孫堅は朝廷の玉璽を得て帰国。曹操は揚州へ、劉備も平原へ戻る。

群星の巻 続 白馬將軍／潮江／石／牡丹亭／傾国／痴蝶鏡／絶響の会／天鵬／人間燈／大権転々／秋雨の頃 ●洛陽が焦土となり群雄は領土争いに余念ない。袁紹、公孫瓚を和解させた劉備は平原の相に。孫堅は荊州の劉表を攻めるが討ち死に。都では後漢の司徒王允が養女貂蟬を使い、暴政ほしいままの董卓と呂布の仲違いを画策、董卓が討たれる。乱賊を平定し献帝から將軍に叙された曹操は、強大な軍を養い、父の仇敵徐州の陶謙を討伐に。陶謙の援軍は劉備。

群星の巻 続 死活往来／牛と「いなご」／愚兄と賢弟／毒と毒 ●草莽の巻 巫女／緑林の宮／改元／火星と金星／両虎競食の計／禁酒碎杯の約 ●曹操は呂布に襲われた兗州奪還に奔る。呂布は仁政の声きこえ徐州太守になった劉備のもとを頼る。董卓は死んだものの李傕・郭汜らの悪政に悩まされる献帝は長安を去り流浪の末、廢都洛陽へ還ると、奸党撲滅を勅され大将となった曹操が上洛、その勅めで許都へ遷都。劉備に勅命が、呂布を倒せ、南陽を攻めよ。呂布が留守城を乗っ取る。



CD 21~24



CD 25~28



CD 29~32



CD 33~36



CD 37~40

草莽の巻 続 母と妻と友／大江の魚／神亭廟／好敵手／小霸王／日時計／名医／平和主義者／花嫁／馬盗人／胡弓夫人／清水は紅し／陳大夫／増長冠 ●玄德は徐州を呂布に譲り小沛にひきこもる。南陽の袁術に身を寄せていた孫策は、父孫堅形見の伝国の玉璽を質に出兵、小霸王孫郎と敬われ江南江東を広く治めた。玉璽を手にした袁術は帝位を僭称、呂布征服を画し玄德を孤立させる。呂布に宣戦された玄德は許都の曹操のもと落ちのびる。袁術は孫策に応援を頼むが拒絶された。

草莽の巻 続 仲秋荒天／空腹・満腹／梅酸・夏の陣／北客／健啖天下／黒風白雨／奇計
臣道の巻 煩惱攻防戦／破瓶／白門楼始末／許田の狼／秘勅を縫う／油情燈心 ●曹操は偽帝袁術征伐に、玄德、呂布、孫策と向かうが許都は常に四方（劉表、張繡、袁術、袁紹）から狙われる。呂布に攻められた玄德は曹操へ逃げのび、双方図つて呂布を下郊に捕え斬首した。曹操と凱旋し伺候した玄德を帝は皇叔として厚遇。国舅の董卓らは帝威をおかす曹操を倒そうとひそかに同志を集める。

臣道の巻 続 鶏鳴／青梅、酒ヲ煮テ、英雄ヲ論ズ／雷怯子／兇門脱出／偽帝の末路／霧風／一書十萬兵／丞相旗／鬪／不戦不和／奇舌学人／雷鼓／鸚鵡州／太医吉平／美童 ●曹操排除の陰謀に玄德も加わるが、公孫瓚の仇を討ちに、淮南袁術、河北袁紹打倒を目し徐州へ。それを追う曹操。玄德は袁術を伐つと曹操から逃げ袁紹に救援を求め。袁紹は曹操討伐に立つ。曹操袁紹両者は荊州の劉表を身方にとりこもうと躍起に。一方、董卓承らの曹操暗殺計画も進むが…。

臣道の巻 続 火か人か／小兒病患者／玄德冀州へ奔る／恋の曹操／大歩す臣道／破衣錦心／白馬の野／報恩・隻手／黄河を渡る／燈花占／風の便り／避客牌
孔明の巻 関羽千里行／五関突破 ●暗殺計画はつぶされ、追われる玄德は冀州袁紹の庇護のもとに。曹操は下郊で孤立する関羽に張遼を向け投降させる。曹操は勇將関羽を得ようとするが、関羽はなびかない。関羽の活躍で曹操は袁紹との会戦に大勝。袁紹の陣に玄德がいることを知った関羽は曹操のもとを去る。関羽は河北へ。

孔明の巻 続 のら息子／古城窟／兄弟再会／于吉仙人／孫権立つ／霹靂車／潮巻く黄河／十面埋伏／泥魚／自壊闘争 ●関羽は張飛を引き連れ玄德を目指す。玄德は関羽が近いと知り、荊州の劉表を味方につけるとうそぶき袁紹のもとを逃れる。桃園の三兄弟は再会。呉では孫策が若くして没し弟孫権が後を継ぎ、補佐周瑜、魯肅など逸材が揃う。呉と絶縁した袁紹は官渡から倉亭で曹操に倒される。玄德は荊州の劉表を頼りにするが、袁紹一族も転がり込み内紛が絶えない。曹操は荊州を狙う。

魏蜀吳

三國鼎立

全文朗読CD版

全100枚

三國志

望蜀の巻・続 朝の月／凛々細腰の剣／周瑜・氣死す／文武競春／荊州往来／鳳雛去る／醉果令／馬騰と一族／不俱戴天／渭水を挟んで／火水木金土／敵中作敵／兵学談義 ●同族劉璋を攻めにくい玄德に代わり呉が蜀へ入ることに。周瑜没し魯肅が大都督。龐統が副將軍となり荊州は万全。曹操は玄德を恐れ北方涼州に討伐を命ずる。玄德が蜀を望むとの報に曹操は呉に侵攻を企図。それを孔明は西涼の馬超らをけしかけくい止めようとするがならず。曹操は朝廷をさらに掌握。



CD 61~64

望蜀の巻・続 蜀人・張松／孟徳新書／西蜀四十一州図／進軍／鴻門の会に非ず／珠 ●蜀は天産豊かな文化の地。漢中張魯の脅威の前に劉璋は玄德を迎えようとする。孫権は曹操の南下で建業へ遷都、守りを固める。曹操は魏公を称するが呉には連敗つづき。蜀に代わり漢中との境を守備する玄德は劉璋に援助を請うが得られず激怒、成都攻略に向かう。張飛の先導で成都へ無血で入る。



CD 65~68

図南の巻・続 金雁橋／西涼ふたたび燃ゆ／馬超と張飛／成都陥落／臨江亭会談／冬葉歌々／漢中併呑／剣と戟と桶／遼東々々／鷲毛の兵／休戦／柑子と牡丹／藤花の冠／神ト ●隴西で暴れる馬超は魏に追われ、蜀を助ける漢中軍に入るも、玄德軍に降伏、玄德の成都入城に力を貸す。玄德は初めて自らの国を得る。西蜀四十一州は栄えた。呉は荊州返還を玄德に求める。曹操は国舅になる。漢中も得る。蜀は呉に荊州三郡を分け修交。曹操魏王を僭称。魏呉は休戦。



CD 69~72

図南の巻・続 正月十五夜／御林の火／陣前公用の美酒／敗将／老将の功／絶妙好辞／一股傷折／趙子龍／次男曹彰／鷄肋／漢中王に昇る／烽火台 ●許都では漢朝の忠臣が謀叛を企てるが魏王曹操に殲滅される。玄德は漢中を得ようと出兵、曹操と対する。漢水沿岸、魏蜀の野戦で曹操の退陣つづき、玄德は四川から広域を領し、魏呉に並ぶ強国となり漢中王に即位。対する魏呉は同盟を結び、蜀を孤立させようと相互不可侵を約す。魏は荊州襄陽が関羽に陥落するのを許してしまふ。



CD 73~76

図南の巻・続 生きて出る樞／関平／七軍魚鼈となる ●樊城で関羽は魏を攻めるが傷を負う。魏は呉に関羽を攻めしめよう進言。呂蒙がなんなく落とす呉は多年の望み、荊州を版図に加えた。奪還しようとする関羽は麦城に向かうが倒される。関羽の首が届けられた魏は国葬にふす。ほどなく曹操は没し、魏は長子曹芳に継がれた。



CD 77~80

孔明の巻・続 邯鄲／野に真人あり／遼西・遼東／食客／檀溪を跳ぶ／琴を弾く高士／吟嘯浪士／軍師の鞭／徐庶とその母／立つ鳥の声／諸葛氏一家／臥龍の岡 ●曹操は北方夷狄を攻略。劉表から跡を託される玄德はあくまでも峻拒、襄陽の会などを逃れ新野を本拠とする。そこに迫る曹操軍を追い払ったのは徐庶だったが、曹操は徐庶をその母の偽手紙で許都に呼び寄せる。徐庶が玄徳の元を去るとき、臥龍として名が聞こえる諸葛亮（孔明）の存在を玄德に教える。



CD 41~44

孔明の巻・続 孔明を訪う／雪千丈／立春大吉 ●玄德は隠棲する孔明を尋ね三度目にして会えた。切々と万民俗衆の救済を願う玄德に打たれ孔明は臣となり、玄德の選ぶ道として西蜀五州を獲り魏・呉に互する策々天下三分の計を説く。曹操は荊州の劉表の後継劉琮と蔡夫人を降伏させ、滅した。軍師孔明を得た玄德と曹操軍との攻防が激化する。



CD 45~48

赤壁の巻・続 宝剣／長坂橋／一帆呉へ下る／舌戦／火中の栗／醉計二花／大号令／殺地の客／狂瀾／群英の会 ●趙雲は玄德の幼君阿斗（劉禪）を抱え逃れ、曹操の厳しい追撃のなか、劉琦の援軍と孔明の計により、玄德は江夏へ入城する。曹操は呉・孫権へ強硬に降伏を迫る。和平を主調する呉の群臣は、玄德の命を受けた孔明の巧みな舌鋒の前に屈服され、孫権はついに出師を決意する。大都督は周瑜。水戦に明るい呉軍は、霧中をもとめせず、弩弓・石砲の嵐で曹操軍を迎える。



CD 49~52

赤壁の巻・続 陣中戲言なし／覆面の船団／風を呼ぶ杖／一竿翁／裏の裏／鳳雛・巢を出ず／竹冠の友／月鳥賦／鉄鎖の陣／孔明・風を祈る／南風北春 ●周瑜は明察の孔明を恐れ十日で十万の矢を作れと命じるが、切り抜けた孔明と共に曹軍に火作戦を画策、鉄鎖に連ねられた大艦隊が呉岸へ押し寄せる。火攻めには季節はずれの南風が待望された。孔明は祈りの行を、そして東南風を呼ぶ。そして魏の大艦は巨大な火焰となり沈没。曹操大敗。



CD 53~56

望蜀の巻・続 山谷笑う／功なき関羽／一擲三城／白羽扇／黄忠の矢／針鼠／柳眉劍響／鴛鴦陣 ●曹操は荊州を目指す。関羽は命からがら敗走する曹操を昔日の恩で見送る。大勝した呉は江北へ渡り曹仁の護る南郡を攻めるが、襄陽などはすでに玄德の手中に落ちていた。玄德は荊州南四郡も平定する。劉表が没すると荊州の所属をめぐり呉と玄德は押し問答になる。玄德は、蜀を得た晩に荊州を呉に返す約束する。呉は孫権の妹を玄德に嫁がせようと画策。玄德は受けた。



CD 57~60

■音源■

NHKラジオ

「吉川英治名作選」

(平成5年9月～8年7月放送)

放送当時から大反響、再放送・商品化を望む多数の声が寄せられていた名朗読。

〈のべ約108時間 完全収録〉

- * 原作と厳密に校合の上、修正、調整などを行い、できるだけ音源としての質を確保したものを原盤とした。

これはもう、 あなたの生涯の 「宝」です！

すでに読んだ人も、今まで読めなかった人も

●それぞれの目的で――

- 人生訓の宝庫
- 人間関係・社会の考察に
- 経営者として、部下として
- 政治に関わる人に
- 素養・教養として
- 将来を担う若者に
- 女として、男として など

■こんな時に――

- 通勤・通学の道すがらに
- 職業ドライバーの相伴に
- ドライブ・旅行の相伴に
- 療養生活に
- ちよつとした休日や余暇に
- ゆとりある人生に
- 日本語の勉強に など

混沌の時代を生きぬき、
充実して生きる知恵の充溢



CD 81~84



CD 85~88



CD 89~92



CD 93~96



CD 97~100

出師の巻・続 七歩の詩／私情を斬る／改元／蜀また傲う／桃園終春／雁のみだれ／呉の外交／この一戦／冬將軍／尉霊大望／一書生／白帝城／石兵八陣／孔明を呼ぶ／遺孤を託す ●曹丕は献帝から帝位を譲られ魏帝誕生、後漢滅ぶ。玄德は蜀皇帝を宣言、さらに関羽の仇討ちに呉へ出兵、張飛は不慮の死。孫権は魏帝から呉王に封ぜられる。敗退つづく呉は陸遜を蜀討伐に向かわせる。玄德は追われ白帝城に逃げ込む。病の玄德は後事を孔明に託し息を引き取る。太子劉禪が蜀皇帝に。

出師の巻・続 魚紋／蜀呉修交／建艦総力／淮河の水上演／南蛮行／南方指掌図／孟獲／輸血路／心縛／孔明・三擒三放の事／王風羽扇／毒泉／蛮娘の踊り／女傑／歩く木獸／藤甲蛮／戦車と地雷 ●玄德没後にわかに魏が仲達の策で五路から侵入。蜀呉同盟なり、魏は呉に互する大艦隊を造り対戦するが、長安も蜀に攻められ、大敗。蜀は孔明が幼帝劉禪を助け平和だった南方で蛮賊が暴れ不穏。孔明は暑熱密林深く幾千里と征伐をつづけた末、南蛮王を従わせた。

出師の巻・続 王風万里／鹿と魏太子／出師の表
五丈原の巻 中原を指して／美丈夫姜維／祁山の野／西部第二戦線／鶏家全慶／洛陽に生色還る／高樓彈琴 ●魏では曹丕が突如没し、その子曹叅が帝を継ぐ。成都に帰還した孔明は北伐断行を帝に奏し、漢室復興、旧都奪還を目指した。備え十分な孔明は大軍をもって出発、蜀は勢いを落とさず進む。魏は司馬懿仲達を頼みとして孔明に向かわせた。孔明が恐れるのは仲達のみ。漢中のノド街亭で魏蜀はまみえた。

五丈原の巻・続 馬謖を斬る／髪を捧ぐ／二次出師表／二度祁山に出づ／食／総兵之印／司馬仲達計らる／天血の如し／長雨／賭／八陣展開／竈／麦青む／北斗七星旗／木門道 ●孔明は街亭大敗の因である馬謖を裁き法の尊厳を守ると、成都へ帰り捲土重来を期した。後出師の表をのぼせると再び祁山に陣をとる。極寒、降雨、兵糧戦、間諜戦の応酬、駆け引きがつづく。孔明は仲達を退けるが、魏呉に密約がなつたとの報に急遽漢中の劉禪のもとへ急ぎ帰るが…。

五丈原の巻・続 具眼の士／木牛流馬／ネジ／豆を蒔く／七盞燈／水火／女衣巾幗／銀河の禱り／秋風五丈原／死せる孔明、生ける仲達を走らす／松に古今の色無し
篇外余録 諸葛菜／後蜀三十年／魏から――晋まで ●孔明は三年間内政拡充に務め、六度目の祁山出陣だが苦戦、呉蜀同盟に頼む。魏は防呉作戦に、三国対陣のまま持久戦、孔明は中原を望む五丈原へ移るが、過労がたたたり、後事を託し没した。五四歳。「孔明の死を以て、完尾」

●別冊 ガイドブック（四六変型判・86頁）

《内容》 刊行に寄せて…吉川英明（吉川英治記念館館長）・橋爪功／吉川英治・原作序文／全巻内容（目次）／「吉川・三国志」刊行の流れ／主要音訓語彙集（登場する人名・地名、難解語句等の五十音順一覧）／関連地図 など



「三国志」史上 世界初の壮挙 全文朗読 CD版 全 108 時間

勇壮な人間のドラマに運命のロマンを旅する愉悦

オーディオブック

三国志

原作 吉川英治

朗読 橋爪 功

圧巻 CD 全 100 枚



オーディオブック 三国志
(大空社 2009 年 6 月発行)

- CD 全 100 枚組 (各 CD 4 枚入のマルチケース使用)
〈天地 191 ミリ×左右 135 ミリ×厚さ 15 ミリ / 25 ケースを特製函に収納〉
- 総収録時間: 約 108 時間 (1 枚平均約 65 分収録)
- ガイドブック (四六変型判・86 頁) * 原作本は付いていません。

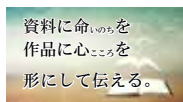
ISBN978-4-283-00624-9

定価 (本体 236,190 円 + 税) 〈分売不可〉

残部
数組

(2025.9)

* ご注文
お問合せは
こちらへ…



学術資料出版

大空社出版

www.ozorasha.co.jp

eigyo@ozorasha.co.jp

TEL:042-306-3383 FAX:042-306-3384

〒189-0001 東京都東村山市秋津町 5-24-13-101